

(別紙4)

評価結果報告書

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2970300493
法人名	医療法人 藤和会
事業所名	グループホームなごやか
訪問調査日	平成 20 年 7 月 29 日
評価確定日	平成 20 年 8 月 20 日
評価機関名	特定非営利活動法人カロア

※記入方法

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけています。
- 「取り組みを期待したい内容」欄は、「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

※項目番号について

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 評価結果概要表

平成 20 年 7 月 29 日

【評価実施概要】

事業所番号	2970300493
法人名	医療法人 藤和会
事業所名	グループホームなごやか
所在地	奈良県 大和郡山市北郡山町310 (電話) 0743-53-5633

評価機関名	特定非営利活動法人カロア		
所在地	大阪市大阪市天王寺区堀越町1番1号四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年7月29日	評価確定日	平成20年8月20日

【情報提供票より】 (20年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 10 月 1 日						
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人				
職員数	7 人	常勤	5 人	非常勤	2 人	常勤換算	5.5 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	1 階建ての	1 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	○ 有(360,000 円)	有りの場合 償却の有無	○ 有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,575 円	

(4) 利用者の概要 (7月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名
要介護1	6	要介護2	5		
要介護3	3	要介護4	1		
要介護5	1	要支援2	1		
年齢	平均 88.5 歳	最低	80 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤村病院
---------	------

概要表

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近鉄郡山の駅より徒歩数分のところに位置し、周囲には住宅が並んでおり、地域の方の知名度も高い様子が伺えます。母体法人が医療法人でもあり、グループホーム入居者にとって、医療面でのバックアップが非常に充実しており、終の棲家となりえる非常に心強いホームです。建物は平屋で2ユニットあり、非常に広い作りとバリアフリー環境があり、非常にあたたかい環境です。裏庭には畑もあり、野菜を作ったり、日向ぼっこができる環境です。また、同法人の院長がホーム運営に対して医療面でのバックアップについて積極的であり、法人内での研修を積極的に実施され、ホームでも最期を看取れる様にと、熱い姿勢が伝わってきます。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4) 昨年の外部評価での課題について台所の環境整備や書類については整備を進めてこられ、改善されています。日中の玄関の施錠については、立地上リスクも高い様子が改善は難しいと考えておられる様子です。運営推進会議については今のところ調整中とのことです。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 玄関の施錠については、公的な警察などの機関や、自治会、また、学校関係者などと協力関係を構築されるなど検討されてはいかがでしょうか。運営推進会議については進展は少ないようです。自治会や関係機関との関係構築も含め、積極的に調整されることを期待します。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 市町村担当者との定期的な交流はないですが、ご家族が面会に来られたときに意見をお聞きし、またカンファレンスを行いサービスの向上につなげておられます。運営推進会議については現在関係機関と調整中ですが、法人内の病院に相談に来られる住民が多くあり、その時に意見をいただくようにしています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 施設だよりを毎月発行し、写真を添えて近況報告をしています。家族の訪問が頻繁にありその都度ご様子をお知らせしています。金銭についても個人の出納帳を作り、家族の訪問時に確認していただいています。ご家族が来訪時職員から声かけを行い、話しやすい雰囲気を作る努力をされています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 老人会やボランティアの訪問が毎月あり、その上に地元の学生の職場体験を受け入れられています。地元の神社の祭礼や、地域の行事にも参加されています。今後さらなる地域交流についてしていきたいと考えておられる様子です。
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に「なごやかな生活を」を掲げ、一日を楽しく和やかに過ごしていただこうと取り組まれています。利用者の尊厳保持、自立支援、家族や地域社会との交流、健康管理についての4つの柱を立てて運営されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの目に付きやすいところに理念を掲示されており、日々の申し送りの中で利用者個々の課題を共有し、理念の実現に向けて取り組んでおられます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会やボランティアの訪問が毎月あり、その上に地元の学生の職場体験を受け入れられています。地元の神社の祭礼や、地域の行事にも参加されています。今後さらなる地域交流についてしていきたいと考えておられる様子です。	○	地域との関係を一層高めるため、自治会との協力関係の構築や、社会福祉協議会との関係作りも含め検討したいとのことだったので、今後に期待させていただきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価での課題について台所の環境整備や書類については整備を進めてこられ、改善されています。日中の玄関の施錠については、立地上リスクも高い様子で改善は難しいと考えておられる様子です。運営推進会議については今のところ調整中とのこと。	○	ケース記録について、誰が記録したのかを明らかにするために記録者のサインを記入するよう取り組まれてみてはいかがでしょうか。玄関の施錠については、公的な警察などの機関や、自治会、また、学校関係者などと協力関係を構築されるなど検討されてはいかがでしょうか。

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族が面会に来られたときに意見をお聞きし、またカンファレンスを行いサービスの向上につなげておられます。運営推進会議については現在関係機関と調整中ですが、法人内の病院に相談に来られる住民が多くあり、その時に意見をいただくようにしています。	○	前回の評価実施から、進展は少ないようです。運営に活かすために、自治会や関係機関との関係構築も含め、積極的に調整されることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者との定期的な交流はないが、手続きや申請のある度に、相談を行い、指導を受けています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	施設だよりを毎月発行し、郵送により写真を添えて近況報告をしています。家族の訪問が頻繁にありその都度ご様子をお知らせすることによって家族の安心につながっています。金銭についても個人の出納帳を作り、家族の訪問時に確認していただいています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来訪時職員から声かけを行い、話しやすい雰囲気を作る努力をされています。ご意見箱を設置しておられますが、なかなか意見が入らない様子です。また苦情相談内容の情報伝達がスムーズに行かないことが現場での対応に時間差が生じている様子です。	○	苦情と相談内容が現場に伝わるのに時間がかかったり、意見箱が上手く機能できていない様子です。窓口をわかり易くする事と、短時間でホーム内にダイレクトに伝わるような苦情相談の仕組みを再検討されてはいかがでしょうか。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の際には、利用者への影響を配慮しながら、引継ぎを確実にし、対応されています。人間的にぎりぎりの人数でされている様子で、ユニット毎に固定はなされていないため、一人の職員が1ヶ月間月つきりとなり利用者との関係作りを含めて対応しています。		

外部 評価	自己 評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画はありませんが、外部研修に積極的に参加しています。新人研修には、1ヶ月間チューター制度を導入し、研修を行っています。また、病院の医療関係者、介護職員等で行われる三カ月毎のカンファレンスを通して、個人のケースを掘り下げていろいろな研修を本院の協力により行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	開所時には交流を持っていましたが、現在は交流されていません。出来たらよいと思うが今のところ難しいと思われる様子です。その分、サービスの質の向上に向けて法人内でのカンファレンスを通じた研修等に力を入れています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学をしていただき、場の雰囲気に慣れていただけるよう職員側から配慮されています。ご本人が馴染めるかどうか見極める為のお試し入所の方法を実施されており、お試しの後、カンファレンスを開き、入居についての意見を伺っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方は人生の経験豊かな先輩です。教わる人が多いという認識を持って接するよう指導しておられます。最近現場では利用者の呼称について、名前でごぶことに課題を感じておられる様子です。	○	利用者の呼称について、検討したいと前向きに考えておられます。再度、アセスメントを行い、その呼称の方法でないといけない根拠を明確にし、家族や関係者の合意の上でケアプランに位置づけて実践されてみてはいかがでしょうか。

外部 評価	自己 評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者、ご家族との会話の中で、本人の思いや要望を聞き取り実現できるように取り組まれています。また医師・看護師・介護職員・家族等が参加してのカンファレンスを通して検討されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネージャーが中心となり、かかり付け医師・看護師・介護職員・本人・家族の意見を反映して介護計画を作成しています。しかし、計画書はありますが、その計画について同意が得られたということがわかりません。	○	利用者やご家族から聞き取りした内容について、計画書の意向欄に具体的な記入をされてはいかがでしょうか。介護計画について説明されたときに利用者同意欄に署名・印・日付けを頂くように改善していきたいと考えておられます。実施されることを期待いたします。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた、又利用者の体調の変化に応じたカンファレンスを行い医師・看護師・介護職員・本人・家族と共にその後の方針を確認しあい、計画書の作成をしておしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体の医療法人との連携により24時間体制で緊急時も医療が受けられる体制を維持されており、ターミナルケアの実践を行っています。利用者や家族の安心につながっています。		

外部 評価	自己 評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の医療法人との連携により、週2回の往診が行われ、健康管理がなされています。又緊急時の適切な医療も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族・医師・看護師・介護職との間でカンファレンスを行い、重度化した場合や終末期のあり方について話し合い、方針を決め、方針を共有して対応されています		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取扱いに関して新規採用時には誓約書を取り、徹底した指導が行われています。利用者を大切に考えたマナーや言葉使いを実践されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	夜寝る時間はそれぞれ好きな時間に寝ていただいたり、利用者1人1人の好みのもので買いに行くなど利用者の希望やペースを大切に支援されています。		

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、下膳、トレーや食器を洗える方に職員が声かけしながら一緒にされています。又食事中も楽しく会話をしたり、さりげなく食事介助をして食事を楽しめるように支援されています。	○	今後、さらに食事が楽しみになるよう利用者の希望を取り入れたメニューの工夫や行事のパーティーメニューの工夫を検討していきたいと意欲的に取り組もうとされています。今後の取り組みに期待いたします。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	東棟は火・木・土曜日、西棟は月・水・金曜日と入浴日を決め週に3回入浴されています。希望があれば決まった日でなくても入浴出来る様配慮されています。時間帯は日中となっており夜の入浴は難しい状態です。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯をたたんだり、配膳、下膳、食器洗い等を能力に応じて個別に役割をもって日々過ごせるよう支援されています。気分が乗らない、体調が悪いときなど、強要せず役割を変えて出来る事をしていただく様に配慮されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	裏庭の畑で作った野菜を収穫したり、日光浴したり、車に乗って買い物に出かけたりしています。気候のよい季節に散歩に出かけ近所の方とのコミュニケーションを楽しんでおられます。	○	職員の人員にゆとりができれば、買い物の回数を増やすなど、外出できる方法を検討して、毎日でも出かけていけるように計画を立てて行きたいと前向きに考えておられます。実践できるよう期待いたします。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	グループホームの前の道路は交通量が多く、すぐ近くに踏切があり危険であることや、外からの侵入者に対応するため、玄関は自動扉ですが、職員が開け閉めするようになっています。	○	外へ出かけた方にはいつでも職員がそっと寄り添って出かけられる様に、また地域との連携を視野に入れながら工夫を重ねて行きたいと考えておられます。職員全員で話し合い、実践していかれることを期待いたします。

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、春・秋に避難訓練を実施しています。秋には実際に消化訓練を行っています。地域住民の協力依頼や備品等の準備はされていません。また、避難訓練で利用者を誘導するのに日中で7分かかったようで、夜間を想定した場合対応に不安も残る様子でした。	○	夜間を想定した避難訓練や備品等の準備も検討していきたいと前向きに取り組んでいこうとされています。昼夜を問わず利用者が避難できる方法を地域の方々の協力も得ながら方法を検討されることを期待いたします。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人の食事量や水分摂取量を日誌に記録し把握しています。献立については、母体の病院の栄養士の協力を得て、利用者の意見も伺いながら献立を作り、栄養のバランスの良いものになっています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は光の調節や空調がなされておりゆったり心地良く過ごせるよう配慮されています。キッチン是对面式で1ユニットに2つ向かい合わせで設置され、見守りをしながら調理の援助を行える環境となっています。また、バリアフリーの作りで、各ユニットに掘りごたつのある和室があり、そこで利用者が洗濯物をたたんでいる様子が伺えました。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い慣れた筆筒や家具が置かれ、写真やご自分の作品などが飾りつけされています。仏壇を置かれている入居者の方もおられ、ご本人が落ち着いて過ごせるよう配慮されています。		